審議会等の会議結果報告書

課所名 水道局営業課

会 議 名 | 令和 6 年度 第 2 回 諏訪市公営企業運営審議会

開催日時 | 令和7年3月24日(月) 午後2時00分より

<委員>

(敬称略)

牛山 智明(会長)、有賀 秀子、藤森 ひろ子、堀内 艶子、松木 義文、

守屋 輝代、吉江 徳男

出席者

<諏訪市>

豊島 修(水道局長)、栁澤 正信(営業課長)、 金子 健一郎(施設課長)、

宮坂 香織(営業課庶務係長)、山口 和朗(営業課料金係長)、

乙黒 勝美(施設課上水道係長)、矢崎 泰宏(施設課温泉係長)、

原 路夫(施設課下水道係長)、牛山 智哉(営業課庶務係主査)

資 料

令和7年度諏訪市公営企業会計予算書

公営企業会計の予算構造と経営サイクル

諏訪市水道・温泉・下水道事業経営戦略策定について

諏訪市窓口業務等委託に係るプロポーザルの実施について

【協議議題(内容)及び会議結果(要旨)】

1 開会

2 あいさつ

(牛山会長)

・本日の会議では、諏訪市水道局における水道事業会計、温泉事業会計、下水道事業会計の3事業の令和7年度予算についての報告を行う。忌憚のない意見をいただければと思う。

(豊島水道局長)

- ・日頃より、諏訪市水道局の水道、温泉、下水道の3事業についてご協力いただきありが とうございます。
- ・本日は令和7年度公営企業会計予算について報告を行う。人口減少や節水意識の高まりによる収入減、物価高騰による動力費や原材料費の増加により厳しい経営状況となっている。
- ・特に下水道会計については、令和7年度予算は赤字予算となっている。令和8年度において下水道使用料の改定を検討しており、令和7年度中に公営企業運営審議会に諮問を行う予定である。

3 報告

- (1) 令和 7 年度諏訪市水道事業会計予算について
- (2) 令和 7 年度諏訪市温泉事業会計予算について
- (3) 令和 7 年度諏訪市下水道事業会計予算について

(委員)

・温泉事業会計予算について、資本的収入において加入金を 623 千円計上しているが、 新規契約の見込みはあるのか。

(事務局)

・現時点での見込みはない。例年の実績をベースとして予算計上をしている。

(委員)

予算とは直接関係はないが、八潮市の事故を受けて、諏訪市はどのような対応をしているのか。

(事務局)

- ・下水道法では 5 年に 1 回の管渠の点検が義務付けられている。諏訪市では、市内を 5 ブロックに分け、5 年で 1 巡するようにカメラ調査による点検を行っている。
- ・八潮市の事故を受け、幹線管路について陥没の兆候がないかどうか、職員が目視による点検を実施した。
- ・また、国土交通省より下水道管調査の要請がなされている。対象は、設置後 30 年以上 が経過している直径 2 メートル以上の管だが、諏訪市の下水道管では該当するものはない。
- (4) 諏訪市水道・温泉・下水道事業経営戦略策定について(経過報告)
- (5)諏訪市水道関連事業窓口業務等業務委託に係るプロポーザルの実施について (委員)
 - ・現在も業務委託をしている業務はあると思うが、追加する業務委託について説明をお願いしたい。また、職員数を削減できる等の効果は見込めるのか。

(事務局)

- ・現在は開閉栓業務、検針業務を委託しているが、新たに窓口等受付業務、調定・収納業務、滞納整理業務について業務委託をする。業務内容を拡充して発注することで、より多くの受注者が見込めると考えている。
- ・人事異動等によりノウハウの継承等が難しい部分があるため、業務委託により市民サービスの向上が見込める。また、職員数の削減も見込めるとともに、窓口業務以外の事務にマンパワーを集約することができるのではと考えている。

(委員)

・民間事業者に調定や収納業務まで委託することになると、最終的にチェックする機能、 体制を水道局内で構築する必要がある。

(委員)

・ある自治体では、利用者自らが検針をすると水道料金を 50 円引きするというサービスを 始めたと聞いている。一つのアイディアとして参考としてもらえればと思う。

4 その他

(委員)

・昨年、PFAS についてニュースとなっていたが、諏訪市では調査を行ったのか。

(事務局)

- ・1リットル当たり50ナノグラムという暫定目標値があるが、諏訪市では市内水源を網羅する水道施設において令和 6 年度に検査を行っており、全て下限値を下回る結果となった。結果については市ホームページにて公開している。
- ・令和7年度についても検査を予定している。なお、国においては令和8年4月から水質 基準項目に格上げする方針が示されている。

5 閉会